

「里山砂防事業」の開始について（速報）

中部地方整備局 多治見砂防国道事務所

本年開催した「里山砂防ワークショップ」において意見要望がありました、倒木・立枯れ木の除去を始めました。

多治見市市之倉（いちのくら）小学校に隣接する「やすらぎの森」は、児童が休憩時間に遊ぶ場所となっています。児童の安全性を確保するとともに豊かな都市山麓をつくりあげていくため、従来から、PTA・地域の方々の奉仕活動による「グリーンベルト事業」が実施されてきました。

この活動をより支援し、また豪雨に伴う流木災害を軽減するため、これらの整備を「里山砂防事業」として開始しました。

今年の作業予定：平成21年10月21日（水）～30日（金）



倒木や立ち枯れ木が多く、とても児童が安全に遊べる環境ではありません。



立枯れ木の伐採はチェーンソーが必要なため、伐採・除去に苦慮されていました。



林内にある倒木は運べる長さに切断し、人力で搬出困難なものを運搬車で搬出します。



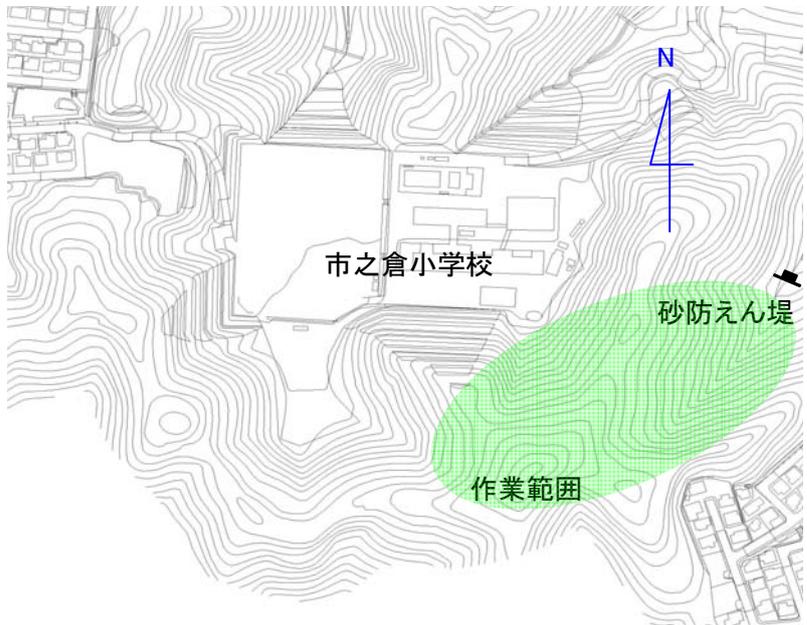
小型の運搬車による伐木の搬出作業状況です。



人力で搬出可能なものはこれまで同様、PTA・地域の方々によって搬出をしていただきます。今年の作業は11月に実施される予定です。



今年2月8日(日)に行われた作業状況です。



中 田 桑 戸 2009年(平成21年)10月22日(木曜日)

東濃 18

東濃

「やすらぎの森」整備

多治見の市之倉小 木を倒したり、倒木を伐採して除去するなどした。(志村彰太)

多治見市の市之倉小学校裏手の「やすらぎの森」の整備が二十一日、始まった。国交省多治見砂防国道事務所が中心となり、一週間かけて枯れ木や倒木を取り除く。

この森は市や民間所有の土地で、一九八六年に整備された。クワガタ捕りやドングリ採集などを楽しめ、自然と触れ合える場として児童たちに親しまれている。地元住民も散策に利用している。

三年前から同校PTAが年一回、倒木などで児童がけがをしないよう整備しているが、昨年、「ナラ枯れ」が発生。大木の枯れ木の除去は危険で、専門的な処理が必要になってきた。

同事務所主導で本年度、「里山砂防事業」を新たに立ち上げ、整備の方針などを検討してきた。この日は四人が作業に当たり、枯れ

※「里山砂防ワークショップ」: 災害に強い良好な山腹にするための里山砂防事業を進めるにあたり、「やすらぎの森」をモデル地区として、ここでのグリーンベルト事に係わる方々とともに現地確認を行い、必要な整備について意見をお聞きました(詳しくは事務所HPの「里山砂防ワークショップだより」をご覧ください)